

【 6年生 卒業研究 学習目標 】

調べ学習の6ステップを1年間かけて指導し子どもたちが実践することで、以下の力を子どもたちにつける。

- ・ 多様な情報探索手段を用いて、自ら積極的に情報探索できる力
- ・ 著作権に配慮して、情報を分析しその情報を元に観点を広げ思考する力
- ・ 情報の分析と自らの思考を論理的に文章として組み立てる力
- ・ 探究したことを他者にわかりやすく伝える力
- ・ 社会の一員として働くことの意義、役割を学ぶ

【 6年生 卒業研究 学習計画 】

基本的に、図書の時間に指導を行う。図書の時間をすべて使った場合、合計約23回？（3学期中旬までで計算）。テーマは「仕事」に絞る。

【1学期予定】 全8回

時限	内容
① 職業を決める	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「調べ学習の6ステップ」振り返りと1年間かけてこれを行うことを説明 ・ <u>「働く」ということの社会的意義・役割を教師から伝える</u> ・ 上記のことを踏まえワークシートを用いて興味のある職業と「働くこと」について抱くイメージを書き出す ・ 今後の1年間の学習予定と学ぶことを確認 ・ 【課題1】書き出したテーマの中からひとつ職業を絞り、その職業を選んだ理由を200字以内で説明し、担任の先生にOKをもらう。 ・ 【課題2】課題1でOKをもらったら、その仕事にたいしてどんなイメージを抱いているかを200字以内で書く
② 著作権について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 著作権法について ・ 著作権に違反しない「引用」「要約」「参考資料リスト」について ・ 情報カードの書きかた ・ 何のために「引用」「要約」「参考資料リスト」をするのか？先行研究への尊敬、研究の再現性、自分の意見と参考にしたことの区別について ・ 【課題】百科事典でその職業について調べ、情報カードと参考資料リストを書く。
③ 情報探索（1）本の探し方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桜井谷東小学校の本の検索方法 ・ 豊中市立図書館の本の検索方法 ・ 図書館同士のネットワーク ・ そのほかのさまざまな図書館の紹介 ・ 【課題】自分の必要な本を桜井谷東小学校図書館、豊中市立図書館やその他の図書館で最低3冊探し出す。
④ 情報探索（2）インターネットでの検索	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の信憑性について ・ 検索キーワードについて ・ 【課題】自分の職業に関するホームページを最低1つ見つける
⑤ 情報探索（3）図書館・文化施設の利用方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館や文化施設を利用する上で注意すべきこと（開館時間や場所） ・ 図書館のレファレンスサービスについて

法、フィールドワークの方法	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設の見学について 手紙、インタビュー、見学等フィールドワークの注意点
⑥ 職業の基本を調べる	<ul style="list-style-type: none"> 「定義」について 仕事のセット本を使って職業の基本を調べる 【課題】 その仕事の定義、どうすればその仕事に就けるか、具体的な仕事内容について調べる
⑦ 「問い」を作る	<ul style="list-style-type: none"> ⑥で調べたことを元に、さらに詳しく調べたいことを決める ⑥で調べたことでは問いを作るのに情報が足りない場合、③で探した本を読み問いを作る 【課題】 問いを最低3つ作り、担任の先生にその問いで良いかOKをもらう
⑧ 調査方針を決める	<ul style="list-style-type: none"> ⑦で作った問いの答えを予想し、実際の答えを調べるためどの手段（③～⑤で学んだこと）で調べれば良いかの調査方針を決める 【課題】 夏休み中に実際にその調査を行う。

【2学期予定】 全8回

時限	内容
⑨ 進捗状況確認	<ul style="list-style-type: none"> ひとりひとり個別に進捗状況を確認する。フィールドワークが行えているか、本を何冊読んだか、本以外の情報をどれくらい探したか、情報カードや調査カード、参考資料リストなどをしっかり記録できているかを確認する。本は最低3冊、本以外の情報はウェブサイトを3つ以上チェックしているかどうかを基準とする。どちらも5以上の情報源に当たっていればベスト。
⑩ 情報を整理・研究する	<ul style="list-style-type: none"> バラバラの情報を整理する必要性を説明 情報を分類（仲間わけ）する、情報カードにタイトル付けなどをするのも良い 情報を関連づける。情報同士につながりが無いかを調べる。情報カードの番号や内容でマッピングしても良い 情報を比較する。情報の内容を比べ、同じような内容か？違う内容か？その違いの原因は？正反対の情報はなぜ正反対になったのか？など情報同士を比べてその違いを探る。 情報の関連性から何か新たな発見が無いかを考える。原因と結果など。 情報を整理・研究していく上で新たな問いが出てきたら、その問いの答えの予想をし情報を探す。
⑪ 研究レポートの構成	<ul style="list-style-type: none"> 研究レポートの構成について。「目次」「はじめに」「おわりに」「参考資料リスト」「奥付」は必ず書く。 「はじめに」と「おわりに」の間は調査したことを項目にして書く。 ひとつひとつの項目は調査内容→答えの予想→調査方法→調査結果→調査結果の整理・研究、の順に書くことを基本とする。 調査内容から書くかは、前回の調査結果の整理・研究を元に、「おわりに」で言いたいことが伝わりやすい構成を考える。必ずしも調べた順番通りでなくても良い。 【課題】 目次を作成する
⑫ レポートの文章の書き方	<ul style="list-style-type: none"> もう一度「引用」「要約」の確認、人の文章と自分の文章を区別して書く 必ず「だ、である」調で書く。友達に手紙やメールを書くのではない。先生た

ち、後輩たちが読むものとして考える。

- ・ 「!」「?」や「…」は使わない。「どんだん」「さらさら」「ドキドキ」などの擬音語・擬態語も使わない。
- ・ 習った漢字は必ず使う。
- ・ 誤字脱字に気をつける。
- ・ その仕事でしか使わない専門用語は必ず説明を文章内に書くか、ページの一番下に「注釈」として書く。
- ・ 想像で文章を書かない。必ず調べたことを元にして、わかったこと、発見したことを書く。「〇〇だと思った」「〇〇だと感じた」ではなく、「〇〇を調べた結果、△△だということがわかった。つまり××だと考えられる（思われる）」。
- ・ やたらと読点（、）を使わない。文章の区切りを考えて使う。
- ・ 箇条書きを上手く使う
- ・ グラフや表を上手く使う

⑬ レポート作成

- ・ レポート作成時間

⑭ レポート作成

- ・ レポート作成時間

⑮ 発表の方法

- ・ 研究レポートと別に、5年生の前で1人ずつ研究結果を発表する。
- ・ 発表時間はひとり3分
- ・ 3分でレポートに書いているすべてのことを発表することはできない。レポート全体をふまえて、自分がその仕事を調べ研究した中で、どうしても伝えたいことを選ぶ。
- ・ 自分が伝えたいことを強く訴えるために研究のどのようなこと（調査動機や調査内容など）を説明すれば良いかを吟味し選択する。
- ・ 自分が伝えたいことを、どのような方法で発表すれば最も効果的に伝わるかを考える。新聞、ポスター、実物投影機と大型液晶、iPadやノートパソコンのスライド、紙芝居や黒板等を用いた発表。
- ・ 台本作成（1）発表する内容の順番を決める。
- ・ 台本作成（2）どの場面でどのようなものを見せるかを決める。
- ・ 台本作成（3）台本の文章（原稿）を書く。
- ・ 発表練習、声の出し方や話すスピード等に注意して発表練習を行う。

⑯ レポート・発表作成

- ・ レポート作成・発表準備時間

【3学期予定】 全4回

時限	内容
⑰ 発表準備	・ 各自発表台本作成や機器の使用方法等の確認、発表練習を行う。
⑱ 発表（1）	・ 5年生・6年生1クラスを2分の1の人数に分け、さらに2回に分けて6年生約8名が持ち時間3分で5年生を対象に研究発表を行う。5年生は6年生の発表をチェックシートで内容評価をする。
⑲ 発表（2）	・ 同上の2回目。
⑳ 卒業研究振り返り	・ 振り返りシートを用いて自身の卒業研究の振り返り、並びに教師・学校司書の指導方法の評価アンケートを行う。

以上全20時間だが、必要に応じ担任が他の総合等の時間を用いて適宜進めていく。各児童の進捗状況、ワークシート等成果物の評価は基本的に担任が行い、評価困難な場合は担任・学校司書が相談して行う。